

会員各位

ASDO・JSCA 東京共催 技術研修会のお知らせ
シリーズ「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」

第3回 「現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造」

講師：元 千葉大学大学院教授 和泉信之 先生（JSCA 名誉構造士）

共催 一社）東京構造設計事務所協会（ASDO）
一社）日本建築構造技術者協会（JSCA 東京）

1月の地震災害からやっと復興の途に就いたかと思われていた能登半島が、それまでの努力を打ち砕くようにして発生した9月の豪雨災害を受けて、被災者の間では、「心が折れる」という言葉が広まっている聞きます。被災された皆様のことを想えば言葉を失い、犠牲者の方のご冥福をお祈りするばかりです。

当研修会では、現在構造設計者にとって馴染みが深いRC造を学び直すという趣旨で、元千葉大教授の和泉信之先生に連続4回のご講演をお願いしております。第3回目になる今回は、PC造に関連したお話をして頂きます。1960年代初頭、構造家の故木村俊彦氏は「今後は建設工事の工業化が進んで、一品生産的な建築を除く建築物の殆んどは、PC造になる」と予測していました。それから60年を経て、遅ればせながら建設工事の工業化が進むと共に、増加傾向にあるPC造についての興味深いお話が楽しみです。

和泉先生からのメッセージ

「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」と題して、皆さんと一緒に4回にわたってRC造建物の構造設計について考えていきたいと思えます。第1回と第2回は、実務設計に多く用いられるルート3の保有水平耐力計算に関する日本建築学会「鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準」の要点と設計への提案についてです。第3回は、建設業技能者が高齢化し減少するなかで省力化工法として注目される「現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造」の進展についてです。最終回の第4回では、巨大地震への対策が求められるRC造建物の耐震余裕の重要性について、「超高層鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価」の事例を取り上げて考えます。

第3回のテーマは、「現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造」です。床や壁などのプレキャストRC部材は、壁式構造からラーメン構造まで広く普及してきました。柱や梁から構成されるプレキャストRC架構は超高層RC造建物などに採用されており、今後、建設労働力不足の対策として通常のRC造建物への展開が期待されていますが、その設計資料は設計者の方の身近に少ないようです。

現場打ちRC造建物の構造設計には、日本建築学会からRC規準や第1回・2回でご説明しましたRC保有耐力規準が刊行されています。一方、プレキャストRC構造の設計については、2002年に「現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造設計指針（案）」が刊行されてから20数年が経ち、その設計方法は現場打ちRC構造に比べて馴染みが薄いのではないのでしょうか。

第3回では、現場打ち同等型のプレキャストRC構造に関して、現場打ち同等型指針の基本的な考えやプレキャスト接合部の設計方法についてご説明し、実例をご紹介します。

まず、プレキャストRC構造の歩みを概観して、現場打ち同等型RC構造についてお話しします。次に、現場打ち同等型指針に従い、部材の目標性能や設計の原則、材軸直交接合部や材軸平行接合部の設計について説明します。最後に、現場打ち同等型プレキャストRC構造の実例を紹介いたします。その際、現場打ち同等型指針案の作成から参加し、プレキャストRC造建物を設計するなかで、現場打ち同等型について考えてきたこととお話ししたいと思います。今後、改定された現場打ち同等型指針が刊行され、様々な現場打ち同等型プレキャストRC構造が展開されることにより、プレキャストRC造建物の耐震性が一層向上することを期待しています。

シリーズ「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」

第3回「現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造」

日時 : 2024年12月9日(月) 18時00分～ (受付17時30分より)

場所 : 日大理工学部駿河台校舎1号館 2階 122会議室 (千代田区神田駿河台1-8-14)
および オンライン配信 (ZOOM配信、YouTubeライブ配信)

(YouTubeライブ配信は後日でも視聴可能です。)

プログラム : 司会 市村隆幸 (株親交設計、ASDO 副会長)

18:00～18:05 趣旨説明 金田勝徳 (株構造計画プラス・ワン)

18:05～19:35 講演 元 千葉大学大学院教授 和泉信之 先生

19:35～20:00 質疑応答

講演資料 (お持ちの方は、ご用意ください)

○現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造設計指針 (案)・同解説
/日本建築学会

○2023年度 AIJ 大会 RC 構造 PD 資料

「現場打ち同等型プレキャストはほんとうに現場打ちと同等なのか？」

日本建築学会会員の方は、こちらより↓ダウンロード可能です。

<https://www.aij.or.jp/taikaidoc2023.html>

講演会参加費 (対面、オンライン共通)

お申し込み時にイベントサイト「Peatix」にてお支払いください。

ASDO 正会員・準会員・賛助会員 : ¥1,000

JSCA 正会員・一般会員・賛助会員・学会会員 : ¥1,000

非会員 : ¥2,000

学生 : 無料

対面会場をメインとした開催となります。ぜひ対面にてご参加ください。

ASDO、JSCA 会員外の方、構造設計業務の関係者、学生、その他の方々のご参加も歓迎いたします。是非ご参加ください。

参加希望の方は、下記申込みフォームよりお申し込み下さい。

申込後に配信 URL や詳細をお知らせいたします。

→ <https://asdo241209.peatix.com>

お申し込みの際、

イベントサイト「Peatix」に登録する必要があります。

お手数おかけしますがよろしくお願いいたします。

また Peatix で「ASDO 研修委員会」フォローいただきますと今後 ASDO 関係のイベント情報が届きます。ぜひフォローをお願いします。



お申込みフォーム QR コード

申込締切日 2024年12月4日(水)

申込締め切り日を過ぎますと、連絡先メールアドレスが登録されず、配信 URL や変更事項などがお知らせできなくなる場合がございます。必ず締め切り日までにお申し込みください。

ご不明な点などございましたら、**問合せ先 e-mail : kensyu@asdo.or.jp** までご連絡ください。

(ASDO 事務局へのお電話による直接のお問合せはお控えください。)

インボイス対応の領収書につきましては、イベントサイト「Peatix」で申込後、送信されるメールからイベント視聴ページへ移動をクリックすると領収書ダウンロードのリンクが表示されます。

